

## 令和5年度公立高等学校における英語教育実施状況調査

※調査基準日は、指定がない場合、令和5年12月1日現在としてお答えください。

※本調査は、高等学校及び中等教育学校の後期課程を対象とします。

※特別支援学校、定時制及び通信制の課程は対象外とします。

※分校がある場合は、本校と分校をまとめて1校とします。

### 1. 調査対象学校数

(単位：校)

学校数
3,256

### 2. 調査対象学校における学科の設置状況

2-(1) 高等学校設置基準第5条及び第6条の区分による「普通科」について、貴校での設置状況を「設置されている」「設置されていない」から選択して回答してください。

※「普通科」とは高等学校設置基準第6条第1項の学科です。

(単位：校)

設置されている	設置されていない
2,205	1,051

2-(2) 高等学校設置基準第5条及び第6条の区分による「英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科」について、貴校での設置状況を「設置されている」「設置されていない」から選択して回答してください。

※「英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科」とは、高等学校設置基準第6条第2項第13号の学科のうち英語教育を主とする学科及び第6条第2項第14号の学科です。

(単位：校)

設置されている	設置されていない
139	3,117

2-(3) 高等学校設置基準第5条及び第6条の区分による「その他の専門学科及び総合学科」について、貴校での設置状況を「設置されている」「設置されていない」から選択して回答してください。

※「その他の専門学科及び総合学科」とは、英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科を除く高等学校設置基準第6条第2項の学科及び高等学校設置基準第6条第3項の学科です。

(単位：校)

設置されている	設置されていない
1,642	1,614

2-(4) 英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科以外の専門学科の数を回答してください。

※大学科の数を回答してください。

例：1校に大学科が2（農業科と工業科）ある場合、「2」と回答します。また、例えば、〇〇工業高校で機械科や電機科などがある場合は、工業科としてまとめて「1」とします。

学科数	2,132 学科
-----	----------

### 3. 英語担当教師の英語力の状況

3-(1) 調査基準日時点において高等学校に所属する英語担当教師のうち、英語能力に関する外部試験を受験してCEFR B2/C1レベル相当以上を取得している教師数を回答してください。

※「英語担当教師」とは、調査基準日時点において高等学校に所属し、外国語（英語）の免許状（免許状の種類は問わない）を所有し、かつ英語の授業を担当している者です（ただし、臨時的任用の者及び非常勤講師を除く）。

※「英語能力に関する外部試験」の結果が「CEFR B2/C1レベル相当（英検準1級など/英検1級など）以上」に当たるか否かについては、各試験団体のウェブサイトなどを参考にして判断してください。

※（ウ）は（イ）に含まれません。ご注意ください。

	英語担当教師数 (ア)	(ア)のうち、CEFR B2レベル相当を取得している教師数 (イ)	(ア)のうち、CEFR C1レベル相当以上を取得している教師数 (ウ)	(イ) + (ウ) CEFR B2レベル相当以上を取得している教師数
人数	20,380 人	12,004 人	4,452 人	16,456 人

#### 4. 外国語指導助手（ALT）等の人数

4-(1) 高等学校で学校独自に授業への協力を得ているALT等の人数を回答してください。

※「学校独自に授業への協力を得ている」ALT等とは、ネイティブスピーカーや英語が堪能な地域人材で、「JETプログラム」「自治体が独自に直接任用しているALT」「派遣契約」「請負契約」「補習等のための指導員等派遣事業」に該当しない者を指します。

※各自治体や学校によって様々な呼称があると考えられますが、本調査における「外国語指導助手（ALT）等」とは、英語の授業などで計画的・継続的に参画している者を指します。英語以外の外国語を担当する者は含めません。

※人数は、年間の契約人数の総数ではなく、調査基準日時点での人数を回答してください。

※「高等学校におけるALT等人数」とは、小学校、中学校等と兼務している人数を含みます。

同一ALT等が2校以上の高等学校に参画している場合は、いずれか1つの学校で1名とカウントします。

※日本人とは、第一言語を日本語とする者とします。また、外国人とは、第一言語を日本語としない者とします。

※該当するALT等がない項目は0と記入してください。

(単位：人)

	高等学校に おける人数	小学校とのみ 兼務	中学校とのみ 兼務	小・中・高兼務
JETプログラムによるALTの人数	1,795	5	110	26
自治体が独自に直接任用しているALTの人数	402	3	9	5
派遣契約によるALTの人数	503	2	20	7
請負契約によるALTの人数	2	0	0	0
上記の他、「補習等のための指導員等派遣事業」のうち、高等学校における英語の授業で活用している人数	0	0	0	0
上記以外で学校独自に授業への協力を得ている日本人のALT等	27			
上記以外で学校独自に授業への協力を得ている外国人のALT等	122			
合計	2,851	10	139	38

5. 英語の授業におけるICT機器の活用状況（令和5年度）

5-(1) 以下に示すICT機器の活用状況について、当てはまるものに○を付けてください。

（単位：校）

	75%以上の授業で行った（行う）	50%以上75%未満の授業で行った（行う）	25%以上50%未満の授業で行った（行う）	1%以上25%未満の授業で行った（行う）	実施していない
生徒が学習者用デジタル教科書を活用した授業	345	316	335	340	1,920
生徒がデジタル教材等（デジタルドリルや動画等のコンテンツ）を活用した授業 ※学習者用デジタル教科書は含まない	278	515	738	986	739
生徒が1人1台端末を活用した授業	737	736	864	801	118
生徒が1人1台端末・パソコン等を用いて発表や話すことにおけるやり取りをする活動	294	564	891	1,156	351
生徒による、発話や発音などの録音・録画	140	284	587	1,301	944
生徒がキーボード入力等で書く活動	253	424	800	1,286	493
生徒が電子メールやSNS、チャットを用いたやり取りをする活動	30	66	220	747	2,193

5-(2) 以下に示すICT機器の活用状況について、当てはまるものに○を付けてください。

（単位：校）

	週1回以上行った（行う）	月1回以上行った（行う）	半年に1回以上行った（行う）	年1回以上行った（行う）	実施していない
生徒が遠隔地の生徒等と英語で話をして交流する活動	18	49	246	377	2,566
遠隔地の教師やALT等とチーム・ティーチングを行う授業	46	45	95	190	2,880
生徒が遠隔地の英語に堪能な人と個別に会話を行う活動	20	43	164	229	2,800

6. 英語教育に関する小学校・中学校との連携の実施状況（令和5年度）

6-(1) 英語教育に関する小学校・中学校との連携の実施状況

英語教育に関して、小学校と連携していますか。当てはまるものを選択してください。

（単位：校）

小学校と連携した（する）	小学校と連携しなかった（しない）
303	2,953

6-(2) 英語教育に関する小学校・中学校との連携の実施状況

英語教育に関して、中学校と連携していますか。当てはまるものを選択してください。

（単位：校）

中学校と連携した（する）	中学校と連携しなかった（しない）
708	2,548

6-(3) 英語教育に関する小学校・中学校との連携の取組内容

小学校や中学校との間で実施した（する）連携の内容として当てはまるものに○を付けてください。（複数選択可）

（単位：校）

	回答
情報交換（互いの取組・実践を情報として交換する）例：授業参観、校内外における合同研究会の実施及び参加等	625
交流（情報交換した内容について研究協議する。互いの学校で授業を行う。）例：指導方法等についての検討会、高等学校の英語担当教師による小学校や中学校での授業等	416
小学校や中学校と連携したカリキュラムや学習到達目標などの設定	124
その他	98

## 7. 生徒の英語力に関すること

7-(1) 以下に該当する生徒数を記入してください。

※「英語能力に関する外部試験」の結果が「CEFR A2レベル相当（英検準2級など）以上」「CEFR B1レベル相当（英検2級など）以上」に当たるか否かについては、各試験団体のウェブサイトなどを参考にして判断してください。

※「CEFR A2(B1)レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒数」とは、実際に外部検定試験の級、スコア等は取得していないが、それに相当する英語力を有していると英語担当教師が判断する生徒の人数を指します。

【判断方法の例】

- ・2技能または3技能を測る試験におけるスコアを踏まえて判断
- ・公式な記録としては認定されない試験のスコア
- ・CAN-DOリストに基づくパフォーマンステストの結果 等

※（エ）は（ウ）に含まれません。（カ）は（オ）に含まれません。ご注意ください。

（単位：人）

	普通科	英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科全体	その他の専門学科及び総合学科	全学科
第3学年に所属している生徒数（ア）	389,687	9,971	192,296	591,954
（ア）のうち、英語能力に関する外部試験を受験したことがある生徒数（イ）	227,154	8,474	59,280	294,908
（イ）のうち、CEFR A2レベル相当を取得している生徒数（ウ）	91,345	2,709	14,323	108,377
（イ）のうち、CEFR B1レベル相当以上を取得している生徒数（エ）	68,412	4,775	7,829	81,016
（ア）のうち、CEFR A2レベル相当の英語力を有すると思われる生徒数〔（ウ）以外〕（オ）	59,010	1,031	13,737	73,778
（ア）のうち、CEFR B1レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒数〔（エ）以外〕（カ）	31,372	881	4,154	36,407
（ウ）＋（エ） CEFR A2レベル相当以上を取得している生徒数	159,757	7,484	22,152	189,393
（オ）＋（カ） CEFR A2レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒数	90,382	1,912	17,891	110,185

7-(2) 上記（オ）／（カ）について、A2／B1レベル相当以上を有すると判断した根拠として、当てはまるものに○を付けてください。

（複数選択可）なお、上記（ア）が0人の場合は、「欠学年」に○を付けてください。

（単位：校）

	普通科	英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科全体	その他の専門学科及び総合学科	全学科
2技能または3技能を測る試験におけるスコアを踏まえて判断	943	73	625	1,641
公式な記録としては認定されない試験のスコア	581	34	336	951
CAN-DOリストに基づくパフォーマンステストの結果	608	43	411	1,062
その他	506	25	384	915
欠学年	32	6	86	124

8. 英語を使用する機会に関すること

8-(1) 授業における、生徒の英語による言語活動の割合

①第1・2学年（言語活動の割合）

第1・2学年で、開設している科目ごとに、1年間の授業を通して、生徒が英語で言語活動をしている時間の占める割合（％）について、当てはまるものに○を付けてください。

※教師ごとではなく科目全体について回答してください。

※言語活動とは、コミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指して実施している活動のことです。

（学習指導要領解説 付録10参照）

【聞くことの例】概要や要点などを聞いて把握する活動。

【読むことの例】概要や要点などを読んで把握する活動。

【話すこと [やり取り] の例】聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考えなどについて話し合う活動。

【話すこと [発表] の例】聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考えなどについて話して伝える活動。

【書くことの例】理由や根拠を基に情報や考え、気持ちなどを書いて伝える活動。

（単位：校）

		授業中、75%以上の時間、言語活動を行っている	授業中、50%以上75%未満の時間、言語活動を行っている	授業中、25%以上50%未満の時間、言語活動を行っている	授業中、25%未満の時間、言語活動を行っている	開設していない
普通科	英語コミュニケーションⅠ	519	929	577	158	22
	論理・表現Ⅰ	291	763	699	296	156
	英語コミュニケーションⅡ	469	951	599	162	24
	論理・表現Ⅱ	233	621	610	222	519
英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科全体	総合英語Ⅰ	55	49	20	2	13
	英語コミュニケーションⅠ	6	6	3	1	123
	ディベート・ディスカッションⅠ	71	29	14	2	23
	エッセイライティングⅠ	26	36	16	6	55
	ディベート・ディスカッションⅡ	31	15	2	0	91
	エッセイライティングⅡ	10	12	7	3	107
その他の専門学科及び総合学科	英語コミュニケーションⅠ	215	606	581	204	36
	論理・表現Ⅰ	127	307	331	131	746
	英語コミュニケーションⅡ	177	556	522	190	197
	論理・表現Ⅱ	59	146	153	63	1,221

②第1・2学年（言語活動の内訳）

上記の項目を10としたとき、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと〔やり取り〕」、「話すこと〔発表〕」及び「書くこと」にかかる時間の割合を0~10で回答してください。なお、開設していない科目については、回答は不要です。

（※「聞くこと」「読むこと」「話すこと〔やり取り〕」「話すこと〔発表〕」「書くこと」全体で10とした場合。）

		「聞くこと」	「読むこと」	「話すこと〔やり取り〕」	「話すこと〔発表〕」	「書くこと」
普通科	英語コミュニケーションⅠ	2.09	3.37	1.74	1.28	1.58
	論理・表現Ⅰ	1.69	1.86	1.96	1.56	3.05
	英語コミュニケーションⅡ	2.11	3.41	1.70	1.27	1.58
	論理・表現Ⅱ	1.68	1.89	1.82	1.49	3.25
英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科全体	総合英語Ⅰ	2.02	3.11	1.90	1.40	1.56
	英語コミュニケーションⅠ	2.19	3.25	1.81	1.44	1.40
	ディベート・ディスカッションⅠ	1.97	1.54	2.77	1.89	1.92
	エッセイライティングⅠ	1.51	1.73	1.70	1.40	3.80
	ディベート・ディスカッションⅡ	1.94	1.40	2.79	2.09	1.85
	エッセイライティングⅡ	1.55	1.81	1.56	1.59	3.59
その他の専門学科及び総合学科	英語コミュニケーションⅠ	2.10	3.28	1.71	1.31	1.66
	論理・表現Ⅰ	1.76	1.83	1.97	1.65	2.96
	英語コミュニケーションⅡ	2.08	3.37	1.66	1.28	1.67
	論理・表現Ⅱ	1.67	1.85	1.84	1.54	3.24

③第3学年（言語活動の割合）

第3学年で、開設している科目ごとに、1年間の授業を通して、生徒が英語で言語活動をしている時間の占める割合（％）について、当てはまるものに○を付けてください。

※教師ごとではなく科目全体について回答してください。

※言語活動とは、コミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指して実施している活動のことです。

（学習指導要領解説 付録10参照）

【聞くことの例】概要や要点などを聞いて把握する活動。

【読むことの例】概要や要点などを読んで把握する活動。

【話すことの例】聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考えなどについて話し合う活動。

聞いたり読んだりしたことを基に、情報や考えなどについて話して伝える活動。

【書くことの例】理由や根拠を基に情報や考え、気持ちなどを書いて伝える活動。

（単位：校）

		授業中、75%以上の時間、言語活動を行っている	授業中、50%以上75%未満の時間、言語活動を行っている	授業中、25%以上50%未満の時間、言語活動を行っている	授業中、25%未満の時間、言語活動を行っている	開設していない
普通科	コミュニケーション英語Ⅲ	349	711	640	250	255
	英語表現Ⅱ	200	499	622	418	466
英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科全体	総合英語Ⅰ	36	27	21	8	47
	異文化理解	52	11	8	6	62
その他の専門学科及び総合学科	コミュニケーション英語Ⅲ	90	246	251	90	965
	英語表現Ⅱ	53	154	199	97	1,139

④第3学年（言語活動の内訳）

上記の項目を10としたとき、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」及び「書くこと」にかかる時間の割合を0~10で回答してください。なお、開設していない科目については、回答は不要です。

（※「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」全体で10とした場合。）

		「聞くこと」	「読むこと」	「話すこと」	「書くこと」
普通科	コミュニケーション英語Ⅲ	2.35	4.17	1.72	1.82
	英語表現Ⅱ	2.00	2.37	1.76	3.96
英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科全体	総合英語Ⅰ	2.28	3.89	2.03	1.79
	異文化理解	2.49	2.75	2.42	2.40
その他の専門学科及び総合学科	コミュニケーション英語Ⅲ	2.29	4.06	1.75	1.92
	英語表現Ⅱ	1.93	2.33	1.85	3.98

8-(2) 「話すこと」及び「書くこと」を評価するためのスピーキングテスト及びライティングテストのパフォーマンステストの状況

以下の各科目について、次の場合分けに従って回答をお願いします。

(ある科目を開設している場合)

パフォーマンステストを本年度実施した、あるいは本年度実施する計画がありますか。実施した場合、次の項目について実施回数を記入してください（実施予定を含みます）。実施しておらず本年度中の実施計画もない場合は、次の項目に0を記入してください。また、「開設していない」には0を記入してください。

(ある科目を開設していない場合)

次の項目に0を記入してください。また、「開設していない」には1を記入してください。

※実施回数とは、当該学年の生徒全員を対象としたパフォーマンステストの回数を指します。

※スピーキングテストは定期考査の一環として行われるものを含みます。

学習指導要領に基づく言語活動（ディベートやディスカッション、スピーチやプレゼンテーションなど）に沿った出題・評価とします。例えば、音読に関するテストは、本調査においては、「読むこと」の技能を評価するものとし、スピーキングテストには含めません。また、あらかじめ決められた台詞を言い合う活動も含めません。

※ライティングテストは定期考査における出題も含みます。

ただし、学習指導要領に示す言語活動などに沿って各学年の学習段階を考慮した評価とし、語彙、語法、文法知識のみを問うような問題や単なる下線部訳は含めません。

（第1・2学年のみ）この調査は科目についての調査です。

・例えば、ある科目を第1・2学年で2か年にまたがって履修する場合、調査年度の第1学年ではスピーキングテスト（スピーチ）を2回実施し（実施予定を含む）、第2学年ではスピーキングテスト（スピーチ）を実施しなかった（実施する予定がない）場合、その科目のスピーキングテスト（スピーチ）の実施回数は2回となります。

・例えば、ある科目を第1・2学年で2か年にまたがって履修する場合、調査年度の第1学年ではスピーキングテスト（スピーチ）を2回実施し（実施予定を含む）、第2学年ではスピーキングテスト（スピーチ）を1回実施した（実施予定を含む）場合、その科目のスピーキングテスト（スピーチ）の実施回数は3回となります。

①普通科

(単位：回)

	英コミュⅠ	論表Ⅰ	英コミュⅡ	論表Ⅱ	コミュ英Ⅲ	英表Ⅱ
スピーキングテスト合計	7,831	5,450	7,751	3,641	3,409	2,045
スピーキングテスト - スピーチ	2,668	1,895	2,509	1,200	1,071	621
スピーキングテスト - プレゼンテーション	2,037	1,464	2,093	1,051	841	526
スピーキングテスト - インタビュー（面接・対話等）	1,927	1,281	1,822	768	724	452
スピーキングテスト - ディスカッション	358	334	429	253	244	165
スピーキングテスト - ディベート	206	194	248	197	155	121
スピーキングテスト - その他	635	282	650	172	374	160
ライティングテスト（エッセイ等）	4,229	5,998	4,352	5,423	2,721	3,869
開設していない	46	181	52	553	317	537

②英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科全体

(単位：回)

	総英Ⅰ	英コミュⅠ	ディベⅠ	エッセイⅠ	ディベⅡ	エッセイⅡ	総英	異理
スピーキングテスト合計	543	68	617	192	285	86	227	265
スピーキングテスト - スピーチ	167	25	160	63	68	26	74	60
スピーキングテスト - プレゼンテーション	156	16	138	58	55	21	53	100
スピーキングテスト - インタビュー (面接・対話等)	126	18	91	36	42	28	56	66
スピーキングテスト - ディスカッション	40	4	77	19	44	6	20	22
スピーキングテスト - ディベート	16	3	124	9	67	2	8	15
スピーキングテスト - その他	38	2	27	7	9	3	16	2
ライティングテスト (エッセイ等)	330	25	277	329	133	145	181	168
開設していない	15	124	25	57	94	108	58	71

③その他の専門学科及び総合学科

(単位：回)

	英コミュⅠ	論表Ⅰ	英コミュⅡ	論表Ⅱ	コミュ英Ⅲ	英表Ⅱ
スピーキングテスト合計	5,883	2,701	4,920	1,020	1,432	838
スピーキングテスト - スピーチ	1,973	930	1,566	322	430	283
スピーキングテスト - プレゼンテーション	1,482	680	1,315	307	404	239
スピーキングテスト - インタビュー (面接・対話等)	1,668	746	1,349	228	334	174
スピーキングテスト - ディスカッション	194	112	192	48	73	37
スピーキングテスト - ディベート	79	58	75	65	44	28
スピーキングテスト - その他	487	175	423	50	147	77
ライティングテスト (エッセイ等)	3,247	2,506	2,890	1,398	990	1,202
開設していない	45	756	213	1,234	1,001	1,168

8-(3) 「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の設定、公表及び達成状況の把握

「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の設定、公表及び達成状況の把握のそれぞれについて、行っている場合は「はい」を、そうでない場合は「いいえ」を選択してください。

※学科全体の状況を回答してください。

※『「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標』とは、英語を使って実際に何をすることができるようになるのか、その能力を技能／領域別に記述したものを指します。

※「公表している」とは、一覧表にした学習到達目標の生徒への配布、単元で使用するワークシートの形式での生徒への配布、「学校だより」での紹介、学校のホームページへの掲載等の方法で、生徒、保護者等と共有されている状態のことを指します。

■生徒と共有している例：

- ①年度当初の英語の授業（オリエンテーション）で、学習到達目標等を配付し、学期ごとやこの1年間で何ができるようになればよいかを生徒と共有する。
- ②単元の第1時に単元の課題を設定し、この単元で何ができるようになればよいかを生徒と共有する。
- ③単元で使用するワークシート形式で生徒に示す。
- ④生徒が到達状況を把握するために振り返り等で活用する。等

■保護者や地域の方と共有している例：

- ①「学校だより」で紹介する。
- ②学校のHPへ掲載する。等

※「達成状況を把握している」とは、一覧表やワークシートの形式で生徒に配布した「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標をもとに、学年末、学期末、単元内等で評価を行い、学習到達目標を達成しているかどうかを教師が把握していることを指します。

(単位：校)

	「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標を設定している	学習到達目標を設定している場合において、「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標を公表している	学習到達目標を設定している場合において、「CAN-DOリスト」形式による学習到達目標の達成状況を把握している
普通科	2,079	1,470	1,437
英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科全体	136	112	105
その他の専門学科及び総合学科	1,563	1,055	1,047
全学科	3,778	2,637	2,589

9. 授業における英語担当教師の英語使用状況

9-(1) 以下の表の各科目について、授業中における英語担当教師の英語による発話の状況として、当てはまるものに○を付けてください。

※教師ごとの使用状況ではなく、科目全体として回答してください。

※ここでの「英語担当教師」とは、調査基準日において英語の授業を担当している者として（臨時的任用の者及び非常勤講師も含みます）。

(単位：校)

		発話の75%以上を英語で行っている	発話の50%以上75%未満を英語で行っている	発話の25%以上50%未満を英語で行っている	発話の25%未満を英語で行っている	開設していない
普通科	英語コミュニケーションⅠ	301	910	721	250	23
	論理・表現Ⅰ	121	608	854	463	159
	英語コミュニケーションⅡ	265	877	754	285	24
	論理・表現Ⅱ	83	456	754	388	524
	コミュニケーション英語Ⅲ	151	589	751	450	264
	英語表現Ⅱ	59	331	675	659	481
英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科全体	総合英語Ⅰ	49	49	25	2	14
	英語コミュニケーションⅠ	5	5	5	0	124
	ディベート・ディスカッション	57	34	17	7	24
	エッセイライティングⅠ	18	36	18	9	58
	ディベート・ディスカッション	30	11	6	0	92
	エッセイライティングⅡ	9	9	12	1	108
	総合英語	24	27	24	13	51
異文化理解	36	19	10	9	65	
その他の専門学科及び総合学科	英語コミュニケーションⅠ	108	513	665	318	38
	論理・表現Ⅰ	46	238	398	208	752
	英語コミュニケーションⅡ	91	462	600	290	199
	論理・表現Ⅱ	21	118	177	93	1,233
	コミュニケーション英語Ⅲ	36	189	275	154	988
	英語表現Ⅱ	17	98	207	164	1,156

10. ALT等の授業への参画状況（令和5年度）

10-(1) 英語の総授業時数における、ALT等の授業への参画状況

英語の総授業時数（計画値）の中で、ALT等が参画する授業時数の割合(%)として当てはまるものを選択してください。

※英語の授業以外（総合的な学習／探究の時間や特別活動等）で英語に触れる時数は含めません。

※英語以外の外国語の授業時数は含みません。ただし、英語に関する選択科目や学校設定科目を含みます。

※1単位時間は50分として計算してください。単位時間の計算によって生じた小数点以下は、全て切り捨てて計算してください。

※割合の算出に当たり、計算した結果によって生じた小数点以下は、全て切り捨ててください。

※学科全体の時数で記入してください。

（単位：校）

	75～100%	50～74%	25～49%	1～24%	0%
普通科	63	144	614	1,363	21
英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科全体	11	44	51	31	2
その他の専門学科及び総合学科	41	126	489	939	47

10-(2) ALT等の授業への参画の具体的状況

ALT等による、以下に示す活動の実施状況について、当てはまるものに○を付けてください。

（単位：校）

		75%以上の授業で行った（行う）	50%以上75%未満の授業で行った（行う）	25%以上50%未満の授業で行った（行う）	1%以上25%未満の授業で行った（行う）	実施していない
普通科	教師とのやり取りを生徒に示すやり取り・発表のモデル提示	1,002	461	339	346	36
	パフォーマンステスト等の補助	676	389	434	462	223
	生徒のやり取りの相手	914	483	403	357	27
	発音のモデル・発音指導	922	436	357	398	71
	生徒の発言や作文等に対するコメント・フィードバック	864	509	385	368	58
英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科全体	教師とのやり取りを生徒に示すやり取り・発表のモデル提示	78	35	14	9	1
	パフォーマンステスト等の補助	68	37	16	14	2
	生徒のやり取りの相手	73	41	12	10	1
	発音のモデル・発音指導	71	35	16	12	3
	生徒の発言や作文等に対するコメント・フィードバック	85	29	15	8	0
その他の専門学科及び総合学科	教師とのやり取りを生徒に示すやり取り・発表のモデル提示	672	328	260	299	36
	パフォーマンステスト等の補助	438	252	304	356	245
	生徒のやり取りの相手	620	338	303	305	29
	発音のモデル・発音指導	655	310	266	311	53
	生徒の発言や作文等に対するコメント・フィードバック	547	319	330	300	99

## 10-(3) ALT等の授業外での活動状況

ALT等による、以下に示す活動の実施状況について、当てはまるものに○を付けてください。

(単位：校)

		週1回以上行った(行う)	月1回以上行った(行う)	半年に1回以上行った(行う)	年1回以上行った(行う)	実施していない
普通科	英語の授業以外の授業や学校行事での生徒との交流	449	457	492	223	584
	一定の目的を持った授業外での教育活動(例:部活動、希望する生徒に対する個別指導、異文化理解のための学習)	870	460	283	149	443
英語教育を主とする学科及び国際関係に関する学科全体	英語の授業以外の授業や学校行事での生徒との交流	59	29	35	7	9
	一定の目的を持った授業外での教育活動(例:部活動、希望する生徒に対する個別指導、異文化理解のための学習)	94	23	12	2	8
その他の専門学科及び総合学科	英語の授業以外の授業や学校行事での生徒との交流	245	311	359	199	528
	一定の目的を持った授業外での教育活動(例:部活動、希望する生徒に対する個別指導、異文化理解のための学習)	461	316	225	134	506